

7
川に關する思い出

山口蒼生

ぼくは、夏休みにかぞくで川にいきました。
川には、カエルやサワガニやドジョウやメ
ダカがいました。

川の水は、とてもつめたくなすんでいました。
川から上がるとさむくかんじでした。

ぎょねんの夏もぼくのかぞくで川にあそび
にいきました。

ぎょねんの川も何もがわうていませんでし
た。

ぼくは、生き物が大好きです。川では、た
くさんの生き物をつかまえてかんさつしまし
た。そしてかえるところには、かわにかえって
あがりました。

なせなら、ぼくはまたらい年もかぞくで川
にあそびにいったときまた生き物にあいた
からです。

いまは、かえない生きものをいけかわかに
むせきにしにはなすひとがいます。

そしてがいらいしゅかぜいらいしゅかはんし
よくするに^事よって日本のたいせつなせいたい
はいか^くずれています。

いつまでもいまぼくがかんじているよう
ながわで生き物を見てうれいと思おうよつな
かんきとうでいてほしい。

そのために、いろいろなかんきとこの
ためにでることをしてほしいです。

ぼくが大人になるころに、いまのざいらいし
うかた^いくさんかえてぼくかかんじたようにい

きものを見てうれしかったりよろこんだりす
るこどもたちかいた^いくらととてもいいかん
きようになっただとおもいます。

ぼくは、これから自分に出来ることをして
かんきとうをもちたいとおもいます。

いかにきこえたりいかにあつたり